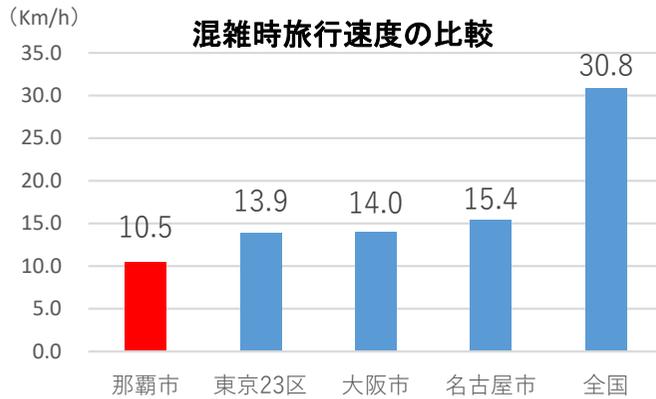


# 沖縄の道路渋滞対策

## 沖縄の道路交通の現状・課題とその背景

### ○全国ワーストクラスの渋滞

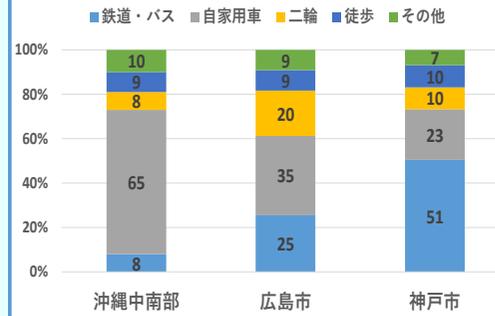


出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査

### ○極端なマイカー依存

公共交通分担率は、同程度の人口密度の都市に比べ著しく低い

#### 通勤通学時の主な交通手段



出典：令和2年度国勢調査を基にした内閣府調査

### ○観光客の増加

観光客数(R4年度):約 677万人(H24比約1.1倍)

出典：観光要覧 令和4年版

### ○観光客増に伴うレンタカー保有台数の増加

観光客の利用する交通手段はレンタカーが多く、  
レンタカー利用は増加傾向  
レンタカー保有台数(R4年度):42,718台  
(H24年度比約1.6倍)

出典：令和5年度版 運輸要覧・業務概況

## 渋滞解消に向けて取り組むべき施策

### ○道路ネットワークの整備 <交通容量の確保>

- ・ハシゴ道路ネットワークの整備、幹線道路網の整備  
ー沖縄西海岸道路、那覇空港自動車道、名護東道路 等
- ・渋滞ボトルネック箇所における交差点改良等  
ー主要渋滞箇所の選定、ピンポイント渋滞対策 等
- ・インターチェンジの整備促進  
ースマートインターチェンジの追加整備 等

### ○公共交通利用の促進 <交通量の抑制>

- ・公共交通の利便性向上  
ーモノレール3両化、バスレーン延長 等
- ・交通結節点の整備  
ーてだこ浦西駅P&R、幸地IC(仮称)整備 等
- ・県民・企業等の意識変革  
ー住民・訪問者や地域のステークホルダー(組織団体・企業等)の参加を得て交通のあり方を検討

# 『ハシゴ道路ネットワーク』の整備

## ■ 南北を走る強固な【3本の柱】

【西側の柱】国道58号

【中央の柱】沖縄自動車道

【東側の柱】国道329号

## ■ 3本の柱を支える【東西連絡道路】

沖縄嘉手納線、宜野湾北中城線、浦添西原線など

## ■ 高速道路を使いやすくする【インターチェンジ】

喜舎場スマートIC、幸地IC、池武当ICなど

凡例	
直轄国道 (西側の柱)	開通済み 事業実施中 計画中
直轄国道 (東側の柱)	開通済み 事業実施中 計画中
沖縄・那覇空港 自動車道 (中央の柱)	開通済み 事業実施中 計画中
地方道 (東西連絡道)	開通済み 事業実施中 計画中

※2024年4月1日時点

	: 既存IC
	: 既存SIC
	: 予定(地活・スマート)IC
	: 事業中IC



# 主要な道路事業

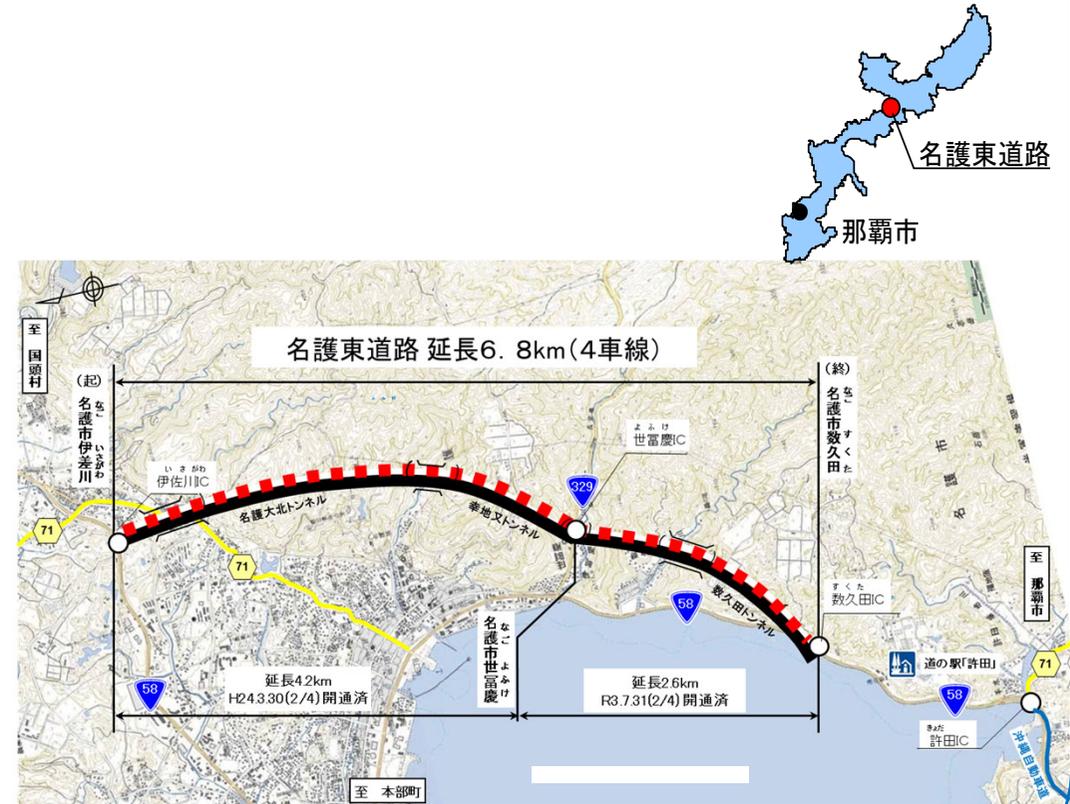
## 沖縄西海岸道路

- ・読谷村から糸満市に至る延長約50kmの高規格道路
- ・那覇空港・那覇港等の広域交通拠点と観光・リゾート地区を相互に連絡することにより、観光振興、地域の活性化等の地域振興を支援



## 国道58号 名護東道路

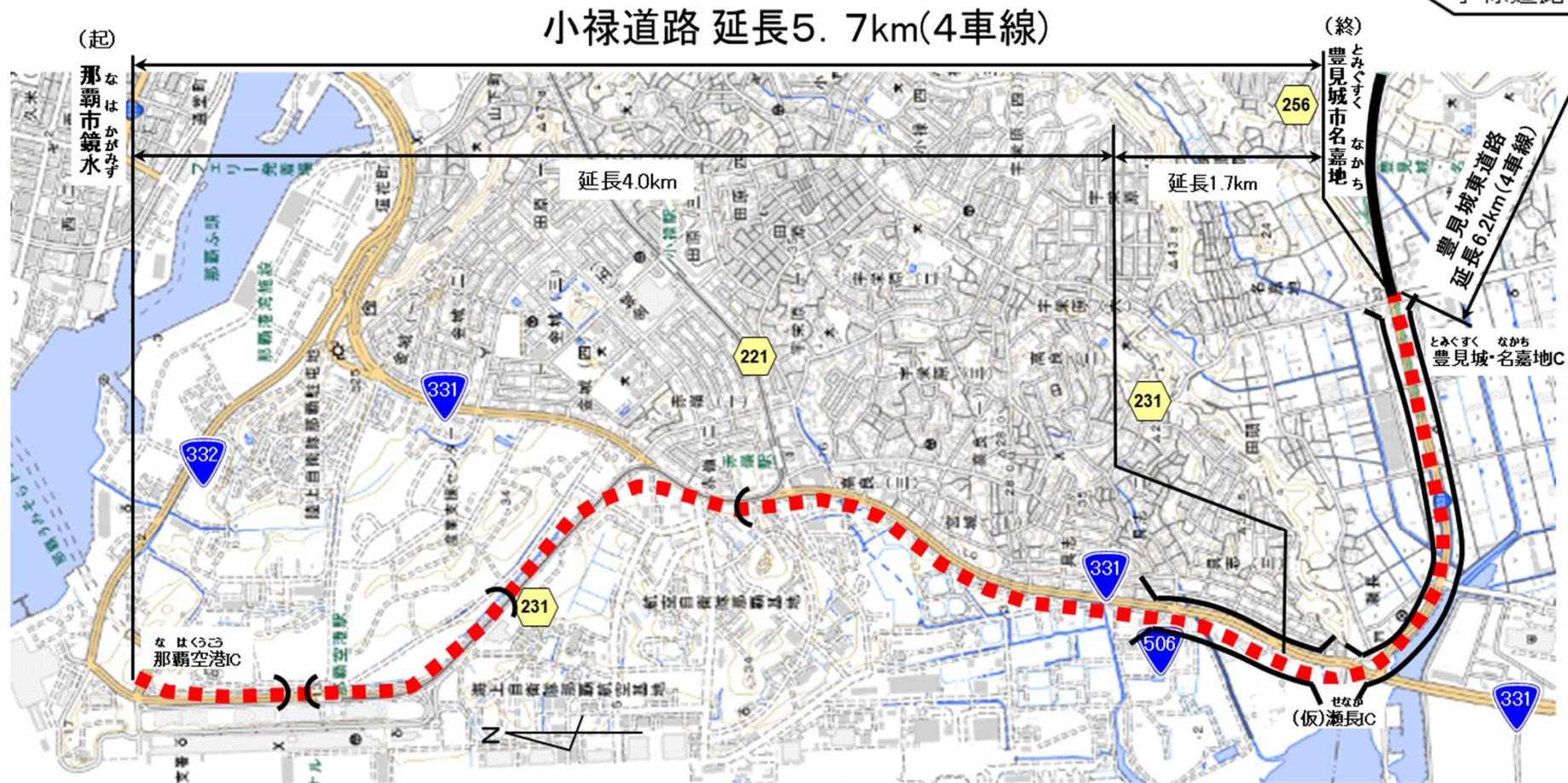
- ・沖縄自動車道と北部広域市町村圏(12市町村)の中心である名護市の市街地を結ぶ路線
- ・那覇空港・那覇港等の広域交通拠点とをネットワーク化することにより北部地域の活性化を支援するとともに、名護市街地の渋滞緩和を図る
- ・令和3年7月31日に全線開通済み(暫定2車線)



# 主要な道路事業

## 那覇空港自動車道 小禄道路

- ・那覇空港自動車道及び沖縄西海岸道路の一部を構成する道路
- ・沖縄自動車道、南風原道路、豊見城東道路と一体となって本島北部及び中南部から那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑の緩和を図ることを目的とする



# 沖縄の交通環境改善の取り組み(モノレール3両化)

- 近年の乗客数の増加、路線延伸や那覇空港第二滑走路供用に伴う更なる乗客数の増加への対応が喫緊の課題。
- 輸送力を増強するため、現行の2両編成を3両編成化し、併せて運行に必要な車両基地の拡張整備等を実施。  
3両編成化の加速化のため補助率引き上げ。
- 令和5年8月10日に3両化車両の運行開始。(当初は2編成にて運行)
- 令和5年度、年度別乗客数が過去最高を更新。

沖縄都市モノレール 年度別乗客数



- 令和6年4月1日に3編成目が運行開始。
- 合計9編成を調達予定

